

あーばんとーく

Kobe UrbanTalk

- 神戸市まちづくり条例制定30年企画展(P.1)
 - 北野・山本地区『皆で育おまの魅力』行動提案アイデア審査結果発表！
こうべまちづくり会館企画展レポート「西田 真人日本画下絵展」(P.2)
 - 神戸のまちづくり 昨日、今日、明日 その1 (P.3)
 - こうべまちづくり会館オープンギャラリー出展者募集!! ほか(P.4)
- 発行：こうべまちづくりセンター
バックナンバーはこちら <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp/matisen/>

神戸市まちづくり条例制定30年企画展

神戸のまちづくり 昨日・今日・明日

2011年

12月8日(木)～25日(日)
(水曜日休館)

午前9時30分～午後5時30分

会場：こうべまちづくり会館 入場無料

神戸のまちづくりの 明日 を考えよう！

企画展示

神戸市で「まちづくり条例」(神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例)が制定されてから、今年で30年を迎えます。

この条例により、新しい時代の都市計画への住民の関わり方として、住民主体のまちづくり活動のあり方が方向づけられました。30年の間には阪神・淡路大震災もありましたが、条例のしくみをいかしながら、様々な地域の状況に応じた「まちづくり協議会」が生まれ、住民の皆さんとともに神戸のまちづくりを進めてきました。

この機会に、今日までのまちづくりを振りかえり、明日を考えるきっかけとして、パネルや航空写真、街の模型やまちづくり協議会ニュースなどを展示します。

是非、一度足をお運びください。

1 階

- まちづくり条例
まちづくりの進め方、まちづくりの歩み
- ルールづくり、ものづくり
協議会、構想・提案、協定、地区計画、事業
- 震災復興まちづくり
復興土地区画整理事業と復興市街地再開発事業
- 協働のまちづくり
こうべまちづくりセンターの役割
- メッセージ
地域団体・専門家からの声
- まちづくり協議会
「まち協」その変遷と活動
- わがまち空間づくり
これからの神戸の都市づくりの指針

3 階

- 模型で見るまちの姿
板宿、六甲道駅南、新長田北、都心
- 航空写真で見る復興の歩み
震災前・震災直後・現在を航空写真で比較
- 地図でみる神戸の変遷
明治から現在まで
- ニュースで知る協議会
まちづくり協議会発行のニュース

12/16 シンポジウム

参加者募集
12/5 受付開始

企画展示にあわせてシンポジウムを開催し、住みよいまちを実現するため、「私たちは今後何にどのように取り組めばよいのか」を、30年を振りかえりながら考えます。

日時：12月16日(金) 午後2時～5時(開場1時30分～)

場所：こうべまちづくり会館 2階ホール

参加費無料、事前申込要・先着80名

■ キーノートスピーチ 「まちづくり条例の果たした役割」

安田 丑作 (神戸大学名誉教授)

■ ディスカッション

「まちづくりの未来とまちづくり条例 ～今後望まれるまちづくりと支援のあり方とは？」

コーディネーター 三輪 康一 (神戸大学准教授)

コメンテーター (順不同)

垂水 英司 ((社)兵庫建築士会顧問) / 橋本 彰 (元神戸市垂水区長)
山本 俊貞 ((株)地域問題研究所代表取締役) / 森崎 輝行 (森崎建築設計事務所主宰) / 岩崎 俊延 ((有)プランまちさと代表取締役) / 田中 正人 (㈱都市調査計画事務所代表取締役)



主催 神戸市、こうべまちづくりセンター、いきいき下町推進協議会

シンポジウムの申し込みは TEL078-361-4523 まちづくり会館 30年シンポジウムの係まで

午前9:30～午後6:00
(水曜除く)

北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』行動提案アイデア審査結果発表！

北野・山本地区では、地区内の伝統的な景観をまもり、そだてるために、昭和56年に地元住民や商業者組織が集まって「北野・山本地区をまもり、そだてる会」を結成し、さまざまな活動に継続して取り組んでいます。

今回の「北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』行動提案アイデア募集」（あーばんとーく23年6月号を参照ください）では、部門①「歴史的資源の活用策」で43件、部門②「思い合いのまちづくり」で70件、両部門で113件の応募がありました。行動提案アイデア募集実行委員会では、北野・山本地区の今後のまちづくり活動への提案として、「効果」「オリジナリティ」「具体性」という観点から選考を行い、部門①では、文学を活かしたまちづくりへの提案など3提案、部門②では、地域の特徴を活かした「坂マップ」作成の提案など3提案、合計6提案を入選（佳作）提案として選出しました。12月4日には、北野工房のまちで、入選者の表彰式を行うとともに、入選者を囲んでの「まちづくりフォーラム」を開催します。

「まちづくりフォーラム」では、神戸大学の三輪准教授をコーディネーターとし、入選者の皆さんと実行委員会のメンバーを交えて、パネルディスカッションを行います。入選者の皆さんの思いと、北野・山本地区に住まう住民の思いを語り合い、北野・山本地区の今後のまちづくりについて参加者の皆さんと一緒に考えたいと思います。

「北野・山本地区をまもり、そだてる会」では、入選提案だけに限らず、ご応募いただいた多数のアイデア提案とまちづくりフォーラムでの成果を、今後のまちの将来像構想やまちづくり活動の活性化へとつなげていきたいと思っています。
(北野・山本地区をまもり、そだてる会)

- 「北野・山本地区『皆で育むまちの魅力』まちづくりフォーラム」
- ◆日時：平成23年12月4日（日）15時～17時（受付：14時30分～）
- ◆場所：北野工房のまち 3階 講堂（中央区中山手通3丁目17-1）
- ◆プログラム：1. アイデア募集の審査発表と入選者表彰
2. 入選者を囲んでの『まちづくりフォーラム』

申込は不要ですので
ぜひお越しください

～こうべまちづくり会館企画展～ 鉛筆1本で描かれたモノクロの世界に感嘆の声！！西田 真人日本画下絵展

去る11月11日(木)から22日(火)までの12日間、『KOBE・モノクロームの眺め』をテーマに、まちづくり会館ギャラリー企画展が開催されました。展示された約30点の作品はいずれも、神戸市在住の日本画家西田 真人氏が、本画の制作過程で描かれた下絵。鉛筆1本で描かれたモノクロの世界は、影や闇の中に消えてしまう細部まで克明に描かれており、彩色された本画とは趣きを異にし、これだけで完成されたひとつの作品と呼ぶにふさわしいものばかりでした。



展示は、「鎮魂」「倒壊」「神戸風景」の3つのコーナーで構成され、「倒壊」では長田区菅原市場の震災直後の情景を描いた『黒いアーケード』（日展特選受賞）のほか、「下山手教会」を描いた『白い壁』など7点。「神戸風景」ではヴィーナスブリッジから神戸市街を臨む『染まる街』、神戸ルミナリエを描いた『光のアーケード』など、15点が展示されました。なかでも「鎮魂」と題したコーナーは、阿弥陀像（垂水区・多聞寺）や菩薩像（再度山・大龍寺）に加え、本年制作された『鎮魂歌』本画とその下絵3種（彩色下絵2点を含む）が展示されましたが、今年3月の東日本大震災で被災された東北・北関東地域の皆さんに捧げる作者の哀悼の気持ちが表わされていたように思えました。



鎮魂歌

期間中、会場には約1,900人の方が来場され、「とても細かく描かれていて、さすがプロだと思います。白黒の世界がすてきです。」「西田さんの真剣な姿勢、作品を創るにあたっての真面目な気持ちが良く感じられた。」「仏像や震災の絵に胸がしめつけられる。色のない世界、細かく描きこまれた絵だからこそ写真よりも伝わってくるものがある。」など、数多くの感嘆の声が寄せられました。

神戸のまちづくり 昨日、今日、明日

その1

一まちづくり条例制定 30年を迎えて一

神戸市都市計画総局まち再生推進課 主幹 谷中 俊宣

神戸市まちづくり条例（神戸市地区計画及びまちづくり協定等に関する条例）は、1981年12月に制定され、本年12月に30年を迎えることとなります。

条例に位置づけられた「まちづくり協議会」は、阪神・淡路大震災からの復興を含め、神戸のまちづくり推進の原動力となってきました。

このたび、「神戸のまちづくり 昨日・今日・明日」というテーマで、12月に「企画展」、「シンポジウム」を、こうべまちづくり会館で開催します。

日夜まちづくりに取り組まれている住民のみならずや専門家の方々をはじめ、まちづくりに関わる多くの方々と共に、改めて30年を振り返り、明日のまちづくりを考える場になれば幸いです。詳細は、本号1ページをご覧ください。

本稿では、3回にわたり、企画展開催に先立ち皆様からお寄せいただいたメッセージやシンポジウムでのご意見などをご紹介します。神戸のまちづくりを振り返ってみたいと思います。

○神戸市まちづくり条例

「神戸市まちづくり条例」は、それまで主に行政が主体となって進められてきた都市計画に、住民が主体的に関与していく仕組みを取り入れたもので、当時、全国的にも先進的な取り組みでした。

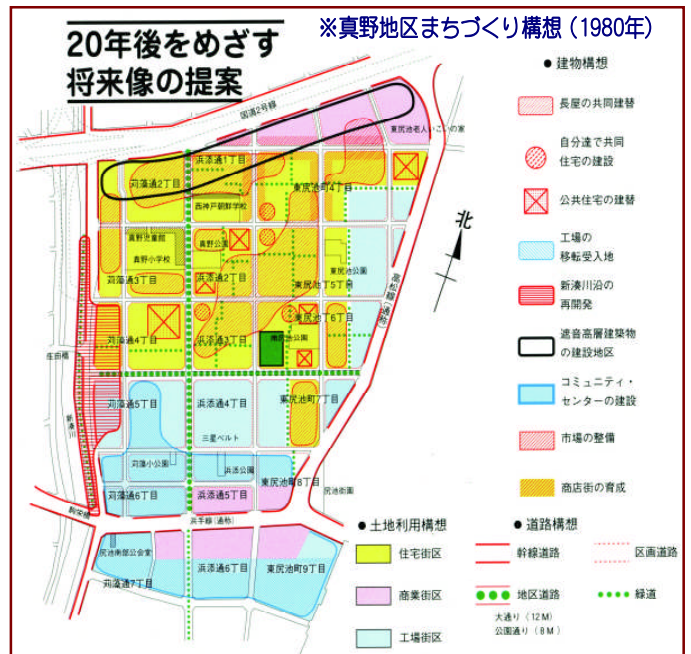
条例は、住みよいまちづくりを推進するために、①住民等が「まちづくり協議会」を組織し、②住民等の総意を反映して、まちづくりの構想を「まちづくり提案」として策定することができる。さらに、③市長は、施策の実施等にあたっては、「まちづくり提案」に配慮するように努める。④市長とまちづくり協議会は、まちづくり提案のうち建築物の制限等について、「まちづくり協定」を結ぶことができる。また、建築行為等の際に、その計画を届け出るように要請し、計画が協定に適合しない場合、市長は必要な措置について協議する、という構成になっています。

この条例は、1980年の都市計画法改正により創設された「地区計画」の手続きを規定する委任条例として、国が示したモデル条例を基に検討されました。まちづくり協議会による提案など住民が主体的に関与していく項目は、最終的には国の理解を得て、神戸市の独自項目として盛り込まれたものです。

○真野地区のまちづくり

まちづくり協定締結の第1号となったのは、長田区の真野地区です。

当地区は、住宅と工場等が混在する典型的な下町であり、昭和30年代後半から公害に悩まされ、公害追放運動を展開しましたが、その後緑化運動や福祉活動などへ発展し、条例制定以前の1980年には、住民自らが20年後の将来像を描いた「真野まちづくり構想」を提案しています。



真野地区まちづくり推進会発行の冊子「日本最長・真野まちづくり」には、「住民運動の中で、地域の住民が学んだ重要なことがありました。それは、住民主導でやらなければならないということです。そして、住民主導で行ういろいろなことに関して行政が参加してくるべきだという発想をその段階で掴んだわけです。」と記されています。

住民主体のまちづくりは、住民から発意され、その実践をもとに、協働で進める仕組みを制度化したものが「神戸市まちづくり条例」なのです。

現在も活動を続ける真野地区まちづくり推進会を訪ねました。「住民のリーダー、専門家等の人の力量が、住民主体のまちづくりを実現させた。その方針は、一貫している。」「今後のまちづくりは、安全・安心が基本である。」と三原代表、清水事務局次長は強調されています。公害追放、震災復興、暴力団追放と様々な困難に、住民自ら立ち向かわれた歴史の重みを感じます。

あなたの地域の“まちづくり活動”を紹介してみませんか？！

平成24年度まちづくり会館オープンギャラリー出展者募集！！

こうべまちづくり会館では、住民主体のまちづくり活動の拠点施設として、会館1階に「まちづくり」に関する市政情報・地域情報広報スペースとして、「オープンギャラリー」を整備し、写真や模型、パネル展示などによる情報提供を行っています。

これまでも『神出町自治協議会・神出地域パネル展』『有馬ふれまち協・有馬文庫展』（平成22年度）など、地域情報を紹介してきましたが、平成24年度からは、まちづくり協議会や景観形成市民団体など地域住民の皆さんの活動や地域のまちづくり情報をより積極的に発信していきたいと考えています。

あなたの地域の“まちづくり活動”を広く紹介してみませんか？！新たなまちづくり活動の目が芽生えていくきっかけ、“日々の活動”の成果の発表や活動の見直しの契機としてふるってご出展ください。

「オープンギャラリー」募集要領は以下のとおりです。出展ご希望の方は、12月中に、各区役所のまちづくり担当課にご相談ください。



◆平成24年度こうべまちづくり会館オープンギャラリー募集要領

1. 開館時間 午前9時30分～午後6時（水曜日休館）
2. 利用期間 原則として月前半または後半の2週間単位。（木曜日から翌々週の火曜日まで）
3. 利用料 無 料
4. 展示スペース 自立式のスクリーンボード（W90cm×H180cm）6枚程度
5. その他 展示物の作成、運搬、設営、撤収及びその経費負担は各団体でお願いします。

まちづくり会館 展示のお知らせ

1階オープンギャラリーの予定

※展示期間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
11/24(木) ～ 12/6(火)	市民花壇コンクール入賞作品展/「道場・八多・大沢町」合併60周年パネル展	(財)神戸市公園緑化協会/北区
12/8(木) ～ 12/25(日)	神戸市まちづくり条例制定30年企画展	神戸市都市計画総局ほか
1/5(木) ～ 1/24(火)	空から見た震災復興写真展	神戸市都市計画総局

地階ギャラリーの予定

※初日、最終日は展示時間が変更になる場合があります。

期 間	テーマ・内容	主催者
12/1(木) ～ 12/6(火)	川崎重工グループ 絵画展 <油彩・水彩等>	川崎重工グループ
12/8(木) ～ 12/13(火)	彩風会展 <水彩>	彩風会
12/16(金) ～ 12/20(火)	「キルト♡マインド」パッチワーク作品展	宮本純子
1/5(木) ～ 1/10(火)	神戸大学写真部 部展	神戸大学 写真部
1/12(木) ～ 1/17(火)	吉岡 充 水彩画展（播磨と神戸）<水彩・仏像等>	吉岡 充
1/20(金) ～ 1/24(火)	みなと銀行福友会会員 作品展 <油彩・水彩等>	みなと銀行福友会
1/27(金) ～ 1/31(火)	公募写真展	(財)兵庫労働者福祉基金協会



神戸市立 こうべまちづくり会館

開館時間：午前9時30分～午後6時（水曜日休館）

場 所：元町商店街4丁目西端の南側角

地下鉄海岸線「みなと元町駅」西1出口から北へ1分

神戸高速「花隈駅」東口から南へ3分

「西元町」東口から東へ5分

JR・阪神「元町駅」西口から西へ8分

〒650-0022 神戸市中央区元町通4丁目2-14

電話：078-361-4523 FAX：078-361-4546

ホームページ <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

コミュニティ相談センター（まちづくり会館4F）

自治会の会報等の印刷サービス、運営等の相談

受付：午前9時30分～午後5時30分（水曜日休館）

ただし、印刷は5時まで

電話・FAX：078-361-4565

年末年始のお休みは 12月28日(水)から1月4日(水)